

新任代表部長を紹介します



呼吸器外科部長
松倉 規

卒業年次／平成元年
専門／呼吸器外科
資格／
日本呼吸器外科学会評議員
日本胸部外科学会指導医
呼吸器外科専門医
日本外科学会専門医

2011年10月に平井 隆前部長から引き継ぎました。当科と呼吸器科で呼吸器センターを形成し機能してまいりたいと思います。グローバルスタンダードな医療を提供できるよう努めます。今後ともご指導よろしくお祈りいたします。

新任副部長を紹介します



精神科(ストレス心療科)副部長
宿南 憲一

卒業年次／平成元年
資格／精神保健指定医



脳神経外科副部長
早瀬 睦

卒業年次／平成11年
専門／脳血管障害の外科、脳血管内治療
資格／脳神経外科専門医



眼科副部長
蒔田 潤

卒業年次／平成8年
専門／眼科一般
資格／日本眼科学会専門医

行事予定のご案内

メンタルヘルス研修会

日時：平成24年1月23日(月)17:30～
※1時間程度
場所：福井赤十字病院
栄養管理棟3階・講堂
講師：ストレス診療科副部長
宿南 憲一
テーマ：メンタルヘルスケアについて

臨床病理検討会

日時：平成24年2月2日(木)18:30～
場所：福井赤十字病院
栄養管理棟3階・講堂
■剖検例「悪性リンパ種・多臓器不全」
内科部長 今村 信
■剖検例「間質性肺炎・慢性呼吸不全」
呼吸器科副部長 渡邊 創

地域医療連携交流会

日時：平成24年2月8日(水)19:15～21:30
場所：サバエシティーホテル2階・プライトン
(鯖江市桜町3-3-3 TEL:0778-53-1122)
■学術講演 I『今日の大腸癌治療』
講師：外科部長 青竹 利治
■学術講演 II『肺癌外科治療の現況』
講師：呼吸器外科部長 松倉 規

各種行事のお問い合わせ先▶▶▶ 地域医療連携課 TEL:0776・36・4110

地域がん診療研修会を開催しました

昨年12月2日(金)、千葉県で在宅医療に熱心に取り組まれているあおぞら診療所上本郷の川越正平院長先生にご講演いただきました。院内外あわせて91名の方にご参加いただき大変盛会となりました。『地域で最期まで自分らしく生きる～在宅と病院が織りなすホスピタライアングル～』と題して、地域と病院が連携して、必要な時に必要な場所で必要な治療ケアを提供できる体制が重要であることをご教示いただきました。

ご参加いただいた方からは「早期からの在宅連携の重要性について改めて考えさせられた」「地域を病棟ととらえ自宅が病室、道路が廊下というお話で在宅のあり方を理解した」などの声をいただき、有意義な会であったと思われまます。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



地域医療連携課

受付時間／平日 8:00～18:30
土曜 8:30～12:30
TEL 0776・36・4110(直通)
FAX 0776・36・0240(専用)

福井赤十字病院

http://www.fukui-med.jrc.or.jp
e-mail renkei@fukui-med.jrc.or.jp

連携通信第41号発行
平成24年1月
福井赤十字病院



Partner

Japanese Red Cross Fukui Hospital

福井赤十字病院連携通信

パートナー vol.041

平成24年1月発行



福井県立福井東養護学校
月見分校 制作

Topics トピックス

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

昨年は日本を震撼させる東日本大震災が発生し、多くの先生方が様々な形で被災地の救援活動に関われた事と存じます。当院も6ヶ月間の災害救護活動を展開しました。東日本の復興はこれからですが、未永く見守り続けたいと思います。

さて、今年は医療・介護保険の診療報酬同時改定の年ですが、大震災や景気低迷の影響でプラス改定率の多くは望めそうもありません。また、欧州金融危機で受診抑制も好転の兆しがありません。しかし、今年は昇竜のごとく、医療再生の光明を求めて飛躍したいと思います。

昨年福井市で開催した日赤医学会では「健康長寿」医療をテーマに掲げましたが、今年も地域に貢献するため、「患者の体と心に優しい医療」を提供していきます。そして、連携医の皆様と協働して地域完結型の医療を推進し、地域医療支援病院・がん診療連携拠点病院の役割を果たします。

今年は病院の理念、基本方針を新たにしました。従来の目指す形を大きく変えずに歩みますが、目標に向かって「医療の質向上」と「人材育成」を重点にする方針です。連携医の先生方の温かいご理解とご支援をお願い致します。

最後に、先生方のご健勝とご多幸を祈念し、新年のご挨拶と致します。



院長 野口正人

福井赤十字病院

理念

人道・博愛の精神のもと、県民が求める優れた医療を行います。

基本方針

- 患者さんの権利と意思を尊重し、協働して医療を行います。
- 安全と質を向上させ、優しい医療を行います。
- 人間性豊かで専門性を兼ね備えた医療人を育成します。
- 急性期医療・疾病予防・災害時医療に積極的に取り組みます。
- 保健・医療・福祉と連携し、地域社会に貢献します。

小児科外来の特徴と体制

～スムーズにご利用いただくためのご案内～



小児科部長
谷口 義弘

小児科外来は初診時中学生以下を対象としています。一般外来や専門外来など、内容が多岐に渡り具体的な様子が判り難いかと思えます。また、今年度の4月から福井県こども急患センターの開設に伴い福井県嶺北の小児救急システムも大きく変更されています。そこで今回は

小児科外来がどんなところかということ、現在の嶺北の小児科救急システムについて説明させていただきます。

連携を通じて効率的でレベルの高い地域小児医療に貢献していく所存ですので宜しく願い申し上げます。

《午前外来》

午前外来ですが一般外来を行っています。一般外来は受診疾患に特に制限は有りませんが、発熱など感染力の有る状態が予想される児は基本的に午前外来で診察しています(午後の予約専門外来は免疫抑制剤使用中の患者さんや乳幼児など院内感染を特に避けたい疾患も対象になっているため)。

通常の紹介予約は先ずは午前外来でお受けします(夜尿や低身長を含みます)。緊急性の無い小児循環器疾患など、施行検査によっては初回から午後の専門外来受診を予約させて頂く場合もありますので、出来るだけ紹介予約時に受診目的をご教示お願い申し上げます。なお、白血病や悪性リンパ腫が疑わしい場合には、上記疾患の診察を行っている福井大学医学部附属病院にご紹介ください。



《専門外来》

当科では慢性疾患はそれぞれの担当医が午後の専門外来を中心に診察しています(検査内容や患者都合等から一部午前の一般外来も利用しています)。午後の専門外来は全て予約制で、一度午前の一般外来を受診して頂く場合もありますので地域医療連携課を通じてご相談下さい。

●**予防接種外来:**本年度は火曜と金曜の午後に事前予約制で行っています。アレルギー疾患で皮内反応が必要な場合等の特殊な事例も対応しています。特殊事例では接種前にご家族と相談し説明が必要と考えられますので、まず一般外来にご紹介下さい。

●**健診外来:**本年度は火曜と金曜の午後に10ヶ月までの乳幼児健康診査を中心に行っています(問題が有る場合のフォローアップや未熟児・早産児のフォローアップも行っています)。他院出生児でも受け入れています(保護者の方からの電話予約か紹介予約をお願いします)。

●**アレルギー・喘息外来:**谷口部長と小倉医師が担当しています。喘息の長期管理や食物アレルギーのフォローアップを中心に、特に幼少児は皮膚炎や鼻炎も考慮した柔軟なトータルケアを考えながら診察しております(重症の皮膚炎や鼻炎は皮膚科や耳鼻科の協力を得る場合も有ります)。スパイロメトリーによる呼吸機能検査も随時行えます。年1回の定期検査だけを当院に

依頼されたい場合も小児科受診の扱いで可能ですので連携を通じてご紹介下さい。当科通院中喘息患者さんの鼻炎や皮膚炎合併や日常管理で情報が必要な場合は御遠慮なく診療情報をご請求下さい。

●**神経外来:**渡邊副部長が担当しています。てんかんや重症筋無力症など神経筋疾患を幅広く診察しています。脳波などの検査・御相談もご依頼頂けます。緊急でない場合は検査の予約枠の確保や必要な時の鎮静の検討を致しますので、通常の紹介手順で連携課に予約をお願いします。また、当科では他疾患含め乳幼児の静脈麻酔鎮静下MRIは安全のために日帰り入院検査を原則としています。鎮静が必要な方のMRI目的紹介の際は、一般外来で鎮静の説明と予約を行いますので鎮静下MRI目的として連携紹介頂ければ対応させていただきます。

●**腎臓外来:**森副部長が担当しています。血尿、蛋白尿、ネフローゼ等広く腎疾患に対応し、腎生検による診断も行っています。当院では小児反復性尿路感染症は泌尿器科医と連携してフォローしています。軽い血尿のみの場合はかかりつけの先生でのフォローをお願いする場合がありますので、その際はご協力をお願い申し上げます。

●**心臓外来:**月に2回非常勤のDrに来院頂き心エコーを含め外来を行っています。予約が混み合い申し訳有りません。緊急時は常勤小児科医がいる循環器病院小児科などに御相談下さい。



《救急外来》

午前外来の受け付け終了後に予約外で受診した病院診療時間内の小児科患者さんは、ご紹介患者を含め小児科当番医が救急外来で診察しています。まず小児科医診察希望の場合は時間外含め小児科担当医宛で紹介状をお願い申し上げます。

《嶺北の小児救急体制と御紹介》

福井県こども急患センターの2011年4月よりの稼働に伴い、小児科医は開業医師を中心に当院などの勤務医を含め交替でセンターに出務しています(平日月～土曜は19～23時、休日は9～23時)。また、急患センターの診療中是一部特殊疾患を除き、二次担当病院は二次診療に徹する事になりました(こども急患センターでは外科系診療はできませんので該当患者さんは小児でも直接当院などの救急病院の受診の指示や紹介をお願いします)。また、日曜祝日の全科二次医療対応だった「嶺北地区病院群輪番制」でも小児内科のみ独立して「小児救急輪番病院制」に統一され、365日平日休日変わりなく曜日割当制となりました。当院は引き続き月曜日と木曜日を担当しています。

なお、当院では紹介時は輪番制・輪番日に関係無くお引き受けし、小児科医が1stコールで診療に当たります。但し、救急車搬送などで小児科医の来院が間に合いそうにないほど緊急の場合は、小児科医を常時在院させている小児輪番病院のご利用をご考慮下さい。